



ハイライトよねやま 162

1 寄付金速報 — 10月の米山月間に向けて —

8月までの寄付金は前年同期と比べ1.7%増（普通寄付金1.6%増、特別寄付金1.9%増）、約480万円の増加となりました。大口寄付者の方をはじめ、多くのロータリアンの方々からのご寄付に感謝申し上げます。

来月10月は米山月間です。米山へのご寄付は確定申告の際に「所得控除」もしくは「税額控除」のどちらか有利な方式を選択することができます。さらに、普通寄付金分もクラブ事務局から会員氏名等のデータをお送りいただければ、申告用領収証を送付いたします。申請方法は当会ホームページをご覧ください。今後とも引き続きご協力賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2 理事会・評議員会 開催報告

第五回理事会が8月23日に、また、第三回定時評議員会が9月4日に、それぞれ都内ホテルで開催されました。

第五回理事会

議長：板橋敏雄理事長

出席者：理事32人、監事：2人

【主な議題】2012年度事業報告・計算書類等の承認、2013年度収支予算書一部修正の件、委員会委員選任の件など：承認

第三回評議員会

議長：上野操評議員

出席者：評議員27人 常務理事・監事9人

【主な議題】理事の選任、評議員補欠選任、2012年度計算書類承認および監査報告の件など：承認

なお、9月4日の評議員会の前には、“よねやま親善大使”の尤銘煌さんと楊小平さんの活動紹介ビデオを上映し、お二人から自己紹介のスピーチをしていただきました。



3 ガバナーエレクト研修セミナーで米山をPR

次年度ガバナーを対象とするガバナーエレクト研修セミナー(GETS)が9月3-4日、都内で開催され、3日の本会議において板橋敏雄理事長と岩邊俊久事務局長が米山記念奨学事業の現況説明を行いました。また、同日の「配偶者プログラム」では、米山学友を代表してよねやま親善大使の楊小平さん(中国/2011-12/東広島21RC)が20分間のスピーチを行いました。

楊さんは時折ユーモアを交えながら、現在も続けている広島平和記念資料館のピースボランティアガイドや、自身で企画した中国への平和スタディツアーなどの活動を紹介。米山奨学金のおかげで学位を取得できただけ



でなく、このような活動につながる「奉仕の精神」をロータリアンから学ぶことができたと、ロータリーへの深い感謝を述べました。

「教育の大切さを日本の社会から教わりました。将来は大学の教員となって、そこから新しい先生を育てたい」と、スピーチを結んだ楊さんに、会場から温かい拍手が贈られ、セッション終了後は、楊さんを囲む談笑の輪ができました。



4

台湾学友会による日本人対象奨学金 第5期生が決定

台湾米山学友会（正式名称：（社） 中華民國扶輪米山会）が恩返しの気持ちから始めた「日本人若手研究者奨学金」が5年目を迎えました。当会ホームページを通じて行った第5期生の募集には9人の応募があり、台湾米山学友会理事会による厳正な選考の結果、このたび以下の合格者2人が決定しました。合格したお二人には今年9月から1年間、台湾学友会から毎月25,000台湾ドル（約84,000円）が支給されるほか、学友会メンバーがカウンセラーとなって、台湾での留学生生活を物心両面で支えます。



い ち 川 のぞみさん

国立台湾藝術大学大学院博士課程2年に在学中。専門は書画芸術。将来は大学で教鞭を取り、日台両国の芸術や史学を学ぶ者の懸け橋になりたいと希望している。



い 本 りょうじさん

今年9月から国立台湾藝術大学大学院修士課程に入学。専門は音楽（ピアノ）。将来は音楽教育と演奏活動を通じて、台湾と日本の文化交流に貢献することが夢。

5

クラブ米山委員長セミナーを初開催！ — 第2690地区 —

第2690地区初のクラブ米山奨学委員長セミナーおよび奨学生・学友親睦会が、森本ガバナー、葛尾米山記念奨学会理事、伊藤米山記念奨学会評議員及び地区米山奨学委員などの出席のもと、「岡山エリア」（8月25日）と「鳥取・島根エリア」（9月8日）に分けて開催されました。3県を擁する同地区は、特に鳥取・島根エリアでこれまで奨学生と学友が一同に会する機会がなく、今回、同地区米山奨学委員長の治郎丸清志氏が名簿をたよりに世話クラブ・カウンセラーに連絡を取り、かつて世話をした学友の所在確認と親睦会の案内をしてもらうよう協力を求めました。その結果、岡山で20人、松江で



17人の奨学生・学友が集合。「奨学期間が終わって初めてこうした集まりに参加できて本当に嬉しい」と、学友たちは口々に喜びを表しました。8月25日には、よねやま親善大使の楊小平さんと、岡山県立大学大学院在籍中のアルチャナ・シュレスタ・ジョシさん（2001-02/鈴鹿西RC）もゲストスピーカーとして参加。9月8日には再び楊小平さんと、当会武本事務局員がスピーチを行いました。森本ガバナーは「地区が本気になって取り組めば、クラブや学友も協力してくれる。学友会の活性化が難しい地方でも、行動と気持ち次第で成果を出すことができるということを示したい。重要なのは、継続すること」と、今後の意気込みを語りました。

米山月間資料のお知らせ

最新の米山月間用資料を全ロータリークラブへお届けします（9月20日発送予定）。

クラブ会長およびクラブ米山奨学委員長は必ずお目通しください。ガバナー、評議員、理事、専門委員、地区米山奨学委員長・委員の皆さまにもお送りします。

- ①豆辞典（必ず会員のみなさまへ配布してください） ②クラブ米山記念奨学委員長の手引き
③寄付金マニュアル ④事業報告書 ⑤事業報告書 統計・資料編 ほか